

属

昭和七年一月廿八日

書記官

書記官長

第七卷三

案

今般左記之者樞密顧問官に任せられ候條此段及通知候也

昭和七年一月廿八日

樞密院事務所

鐵道大臣官房文書課 御中

樞密院

記

東京市外調布田園都市一九三號地

窪田静太郎

赤坂區檜所四番地

子爵栗野慎一郎

麹町區紀尾井所八番地

元田 肇

昭和七年三月六日

樞密院前通牒了内閣官房總務課前通牒撒水  
儀付官内省主馬寮ニ對シ内閣了交渉上撒水  
乃承諾ヲ得ル旨横溝内閣書記官了通知アリ

本院トシテハ主トシテ委員會開會ノ節又ニ審査  
為説明員多數出席ノ時分ハ特ニ注意シ主  
馬寮ニ交渉ノ上塵埃ノ立ル程度ニ撒水乃  
交渉スハキ旨既藤書記官了達セリ

樞密院